

山形県危険物安全協会連合会 令和5年度 事業報告

1 会議の開催

(1) 総会

令和5年6月19日(月) 山形市 パレスグランデール

- ・令和4年度事業報告並びに同決算報告
- ・令和5年度事業計画(案)並びに同収支予算(案)
- ・役員改選
- ・役員会への補正予算等の委任 ほか
- ・山形県危険物安全協会連合会会長表彰(総会と同日開催)

(2) 役員会

第1回 令和5年6月2日(金) 書面会議

- ・総会に提出すべき事項

第2回 令和6年2月27日(火) 山形市 パレスグランデール

- ・令和5年度事業執行状況並びに同予算執行状況
- ・令和6年度事業計画(案)並びに同収支予算(案) ほか

(3) 監査 令和5年5月30日(水) 村山総合支庁

(4) 危険物保安講習推進会議 令和5年5月22日(月) 村山総合支庁

2 ホームページによる広報活動

当連合会等の事業内容や保安講習の開催日程等の情報を広く提供し、危険物安全対策に対する県民の理解の深まりを期すると共に、保安講習等の受講を促進。親しみ易く、利用し易いホームページとなるよう努めた。

3 表彰事業の推進

(1) 消防庁長官表彰・全国危険物安全協会理事長表彰

令和5年6月5日(月) 東京都 ニッショーホール

- ・全国危険物安全協会理事長表彰
会長表彰(個人) 畠中 昭治 氏(県危連理事、酒田地区危険物安全協会会長)
優良危険物関係事業所 株式会社 片桐製作所(上山市)

(2) 山形県危険物安全協会連合会会長表彰

令和5年6月19日(月) 山形市 パレスグランデール

- ・特別表彰 5件
- ・優良従事者 4件
- ・優良事業所 20件

(3) 山形県知事表彰

令和6年1月16日(火) 山形県庁

- ・保安功労章 佐藤 進 氏(県危連監事、西村山地区危険物安全協会会長)

4 図書等の斡旋

各地区危険物安全協会が実施する危険物取扱者試験準備講習等への図書を斡旋。

844冊(法令編222冊、実務編221冊、乙4 325冊、甲25冊、丙51冊)

参考 令和4年度707冊、令和3年度926冊 令和2年度922冊 令和元年度1,117冊

5 関係機関との連絡調整

- (1) 都道府県危険物安全協会連合会事務局長会議
 令和5年 4月27日(木) 東京 ヤクルト本社ビル
 令和5年10月12日(木) WEB会議
- (2) 全国危険物安全大会 令和5年6月5日(月) 東京 ニッショーホール
- (3) 都道府県危険物安全協会連合会会長等研修会 令和5年9月25日(月) 東京 ルポール麹町
- (4) 東北・北海道ブロック危険物安全協会連合会会長・事務局長会議
 令和5年10月31日(火)～11月1日(水) 福島県 ホテル福島グリーンパレス
- (5) 東北・北海道ブロック危険物安全協会連合会事務局長・担当職員会議
 令和6年2月15日(木)～2月16日(金) 岩手県 アートホテル盛岡

6 危険物取扱者保安講習の実施

- (1) 危険物取扱者保安講習(山形県から受託)
 開催時期 令和5年8月～12月
 申請件数 2,327件 (参考 令和2年度 2,358件)
- ①危険物取扱者保安講習会(対面方式)
 開催計画 26回(R3 31回 R4 27回 例年25回) 新型コロナ対応

開催地	一般	給取	石コ	合計
山形市	3	2	-	5
米沢市	3	1	-	4
三川町	4	2	-	6
酒田市	-	-	1	1
長井市	2	1	-	3
寒河江市	2	1	-	3
新庄市	1	1	-	2
村山市	1	1	-	2
合計	17	9	1	26

②オンライン講習

全国危険物安全協会が提供するオンライン講習受講システムを利用した講習の実施。

- ・受講者数 254人 システム利用料 300円/人(県危連が全危協へ支払う)
- (2) 未受講者発生防止を図るため、各種の手法により、集中的な広報・啓発を実施。
 - ・開催案内の小型ポスターを作成し、地区安全協会を通じて各事業所に配布
 - ・約1000箇所の事業所に書面で講習日程を知らせ、職員の積極的受講を依頼
 - ・ポスターを作成して配布・掲示依頼
 - ・市町村等と連携し、広報紙等を活用して講習会等開催日程の周知を促進
 - ・消防署等の立入検査等で未受講を確認したときの受講指示の促進
 - (3) 「3年後受講はがき」活用による受講の促進
 「3年後の講習受講と講習日程等のお知らせ(3年後受講はがき)」制度の利用促進。
 利用率 約7割

7 定期点検事業者認定制度事務の実施

- (1) 定期点検認定等事務 認定等事務件数 14件
- (2) 点検済証交付事務 交付枚数 505枚
- (3) 認定指導員による実態調査 3箇所

8 公益事業の推進

- (1) 危険物安全週間のPR事業
- ・危険物安全週間用ポスター 1,900枚
 - ・啓発用リーフレット 2,000部
 - ・小冊子「事故防止チェックリスト」 400部
- (2) 全危協の公益事業基金助成事業を活用した危険物防災広報啓発事業を実施。
- ・表彰式、危険物取扱者保安講習日程等の広報 など
- (3) 各地区協会に対し、危険物取扱者保安講習に係る広報及び危険物事故防止に係る活動への助成
- ・市町村広報誌への掲載などの広報及び事故防止啓発活動の推進等
- 助成金額＝事業所数×120円＋定額

定額の区分

定額の区分	事業所の数		定額の額（円）
		100未満	10,000
100以上	200未満	15,000	
200以上	300未満	20,000	
300以上		25,000	

9 火薬類取扱保安責任者試験の実施

- (1) 公益社団法人 全国火薬類保安協会から受託。試験事務を実施。
- (2) 試験問題作成及び採点は全火協。県危連は試験実施及び結果通知。
- 令和5年6月20日（火）～29日（木） 願書受付
- 令和5年9月3日（日） 試験実施（試験会場：山形国際交流プラザ）
- 令和5年10月20日（金） 合格者発表、結果通知送付
- 受験者数 19名 合格者 7名
- （参考）令和4年度 26名 16名

10 火薬類保安教育講習等の実施

- (1) 火薬類保安教育等講習
- 公益社団法人 全国火薬類保安協会から受託。対面講習復活。
- 開催時期 令和5年7月～11月
- 開催回数 5回（山形2回、新庄1回、米沢1回、三川1回）
- | | | | |
|--------|------|---------------------|-------------|
| 保安教育講習 | 96名 | （令和4年 38名、令和3年 79名） | 2年ごと |
| 再教育講習者 | 7名 | （ 5名、 20名） | 手帳失効者 |
| 従事者講習者 | 35名 | （ 5名、 6名） | 火薬業務の補助者 毎年 |
| 計 | 138名 | 43名、 105名） | |
- (2) 火薬類取扱保安責任者等試験準備講習
- 受講希望者数が少ないため当分の間中止

11 山形県証紙の売りさばき

- ・売りさばき金額 46,409千円
 - ・県証紙仕入額 45,123千円
- ※ 売りさばき金額の3.3%が手数料収入となる。
- 県証紙仕入額には、県証紙仕入、売りさばきに要した経費を含む（旅費、消耗品等）

山形県危険物安全協会連合会 令和5年度決算報告

(収入の部)

科目	予算額	決算額	差異	備考
1 会費	1,210,000	1,210,000	0	
山形・酒田・西村山 @110,000	330,000	330,000	0	
米沢・鶴岡・天童 @100,000	300,000	300,000	0	
最上・上山・西置賜・東根・南陽・高畠 @70,000	420,000	420,000	0	
村山・尾花沢大石田・山辺・川西 @40,000	160,000	160,000	0	
2 助成金	693,000	617,644	△ 75,356	
危険物保安講習助成金	278,000	293,340	15,340	
公益事業基金助成金	130,000	116,000	△ 14,000	
図書回転手数料	285,000	208,304	△ 76,696	
3 受託金	61,668,000	58,426,603	△ 3,241,397	
危険物保安講習受託金	9,719,000	9,624,472	△ 94,528	
定期点検広報事務受託金	70,000	77,000	7,000	
定期点検認定等事務受託金	26,000	1,100	△ 24,900	
点検済証交付事務受託金	36,000	49,100	13,100	
認定指導員実態調査事務受託金	100,000	61,370	△ 38,630	
火薬類試験業務受託金	566,000	592,496	26,496	
火薬類保安講習等業務受託金	1,075,000	1,554,020	479,020	
火薬類試験準備講習受講料	76,000	57,600	△ 18,400	
県証紙売上	50,000,000	46,409,445	△ 3,590,555	
4 人件費負担金	1,308,000	1,312,000	4,000	
人件費負担金(消防設備協会)	1,308,000	1,312,000	4,000	
5 雑収入	51,000	156	△ 50,844	
預金利子	1,000	156	△ 844	
講師研修会旅費(全危協)	50,000	0	△ 50,000	
所得税還付	0	0	0	
雑入	0	0	0	
当期収入合計	64,930,000	61,566,403	△ 3,363,597	

支出の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
1 会議費	500,000	551,316	51,316	
会議費(総会費、役員会費)	500,000	551,316	51,316	
2 事業費	56,547,000	52,608,629	△ 3,938,371	
定例表彰費	240,000	231,330	△ 8,670	
危険物保安講習費	6,918,000	6,571,662	△ 346,338	
事務担当者研修費	0	0	0	
連絡調整費	441,000	183,520	△ 257,480	
公益事業費	80,000	75,350	△ 4,650	
ホームページ運営費	134,000	133,430	△ 570	
認定指導員実態調査費	100,000	45,376	△ 54,624	
火薬類試験実施費	58,000	78,284	20,284	
火薬類保安講習費	150,000	103,322	△ 46,678	
火薬類試験準備講習費	76,000	62,700	△ 13,300	
県証紙仕入	48,350,000	45,123,655	△ 3,226,345	
3 事務費	5,623,000	5,431,481	△ 191,519	
人件費	3,743,000	3,755,148	12,148	
福利厚生費	664,000	613,372	△ 50,628	
消耗品費	80,000	27,426	△ 52,574	
通信運搬費	490,000	386,311	△ 103,689	
使用料及び賃借料	450,000	452,044	2,044	
財務・会計整理、会計ソフト保守	166,000	165,660	△ 340	
交際費	30,000	31,520	1,520	
4 負担金	205,000	204,160	△ 840	
全危協、社会保険協会 会費	205,000	204,160	△ 840	
5 公租公課	600,000	550,900	△ 49,100	
消費税、市県民税	600,000	550,900	△ 49,100	
当期支出合計	63,475,000	59,346,486	△ 4,128,514	

当期収支

(当期収入合計－当期支出合計)

2,219,917

当期繰越金(前期繰越金(預金＋現金)＋当期収支額) ※ 県証紙在庫を除く

6,333,423＋83030＋2,219,917＝ 8,636,370